

5. 奈良らしいキャリア教育

(1) 世界遺産学習とキャリア教育

心揺さぶられる「本物」との出会い

奈良市では、奈良を深く知り、奈良で学んだことを誇らしげに語れる子どもを育む「世界遺産学習」を推進しています。

歴史を深く知ること、歴史上の人物や地域の方の生き方に触れること、地域のことを考え行動に移すこと等は、児童生徒の心を豊かに耕し、児童生徒のアイデンティティを育むとともにキャリア発達を促すことにつながります。

「ひと」「もの」「こと」の出会いから学ぶ

○「ひと」

- ・ 聖武天皇
- ・ 棚田嘉十郎
- ・ 地域でお世話になっている人 など

○「もの」

- ・ 世界遺産
- ・ 無形文化遺産
- ・ 地域遺産（地域にある宝物） など

○「こと」

- ・ 地域に伝わる祭りや伝統行事
- ・ クリーンキャンペーン活動
- ・ あいさつ運動 など

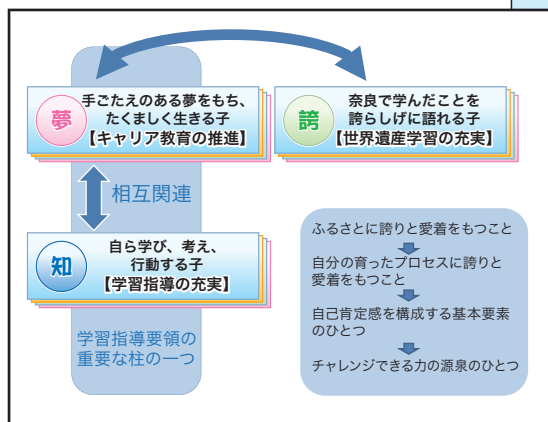


奈良の子どもたちに伝えたい学習モデル

- 平成25年度の「世界遺産学習作業部会」で検討・作成
- 奈良の子どもに「知ってほしいこと」「学んでほしいこと」を発達段階・教化等との関連を考慮する

- ・ 小1 「みんなみんな大すぎだよ」
- ・ 小2 「はっ見、私のまちのすてきなところ」
- ・ 小3 「奈良の祭り おん祭」
- ・ 小4 「奈良公園の鹿」
- ・ 小5 「奈良の大仏の魅力」
- ・ 小6 「正倉院のたからもの」
- ・ 中1 「鹿とともに」
- ・ 中2 「法隆寺から考える」
- ・ 中3 「人々の思い」

奈良市のすべての児童生徒が知っている、学んでいる。



(2) 小中一貫教育とキャリア教育

9年間でキャリア教育の視点でつなぐ

奈良市では、平成27年度から小中一貫教育を市内全小中学校で取り組んでいます。

9年間の連続した学びの中で、確かな学力と豊かな人間性の育成を図る小中一貫教育の特色を生かすことで、子どもたちに効果的なキャリア発達を促すことができます。



小中合同の研修会の様子

システム連携

- ・小中学校で共通の「身に付けさせたい力」を設定する。
- ・お互いの生徒指導部会に生徒指導主任が参加して、情報共有する。
- ・定期的に小中連絡会を行い、教師がそれぞれの授業を見合い、研修を行う。

カリキュラム連携

- ・小学校の「世界遺産学習のまとめ」や「卒業にあたり」で書いた作文を、中学3年生で振り返る。⇒個人面談（キャリア・カウンセリング）実施
- ・小中の交流を意図的に取り入れる。
 - 中学校のジュニアインターンシッププログラムのポスターセッションに小学生が参加する。
 - 生徒会主導の体験入学実施
- ・行事連携を積極的に行う。
 - 児童会生徒会で合同アクションを行う。
 - 小中合同の世界遺産学習実践交流会や合唱祭。

具体的な取組例

中学校区ごとに課題を見定め、
9年間を通した取組へ

まずは、行事などの連携や、
教科をキャリア教育の視点で
つないでいきましょう。

中学校区で共有する。

いきなり大きな組織は
難しいから、まずは小さい
組織で進めましょう！

身に付けさせたい力を
具体的に決める。

できることから始めましょう！
何よりお互いを「知る」ことが大事ですね！

保護者の
願い

地域の
願い

教職員の
願い

(3) 奈良市ジュニアインターンシップ

キャリア発達を促す社会参画

職場体験学習の事前学習において、探究的な課題を設定することで、より意欲的に体験活動に関わることができます。また事後学習では、探究した内容をポスターセッションを行うことにより、さらに学びが深まり、視野が広がります。

事前・事後をとおして、地域教育協議会の地域コーディネーターの協力を得ることにより、さらに学びの質は高まります。

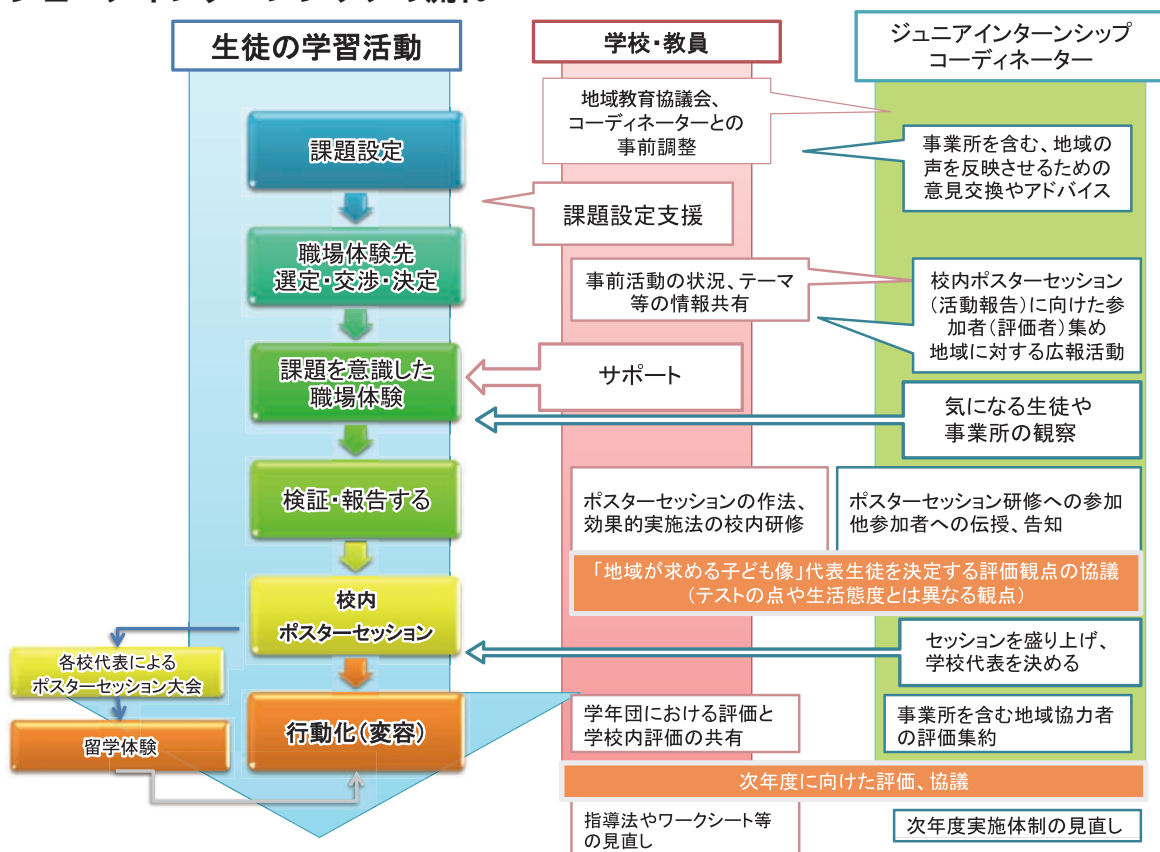
この一連のプログラムを奈良市では、「ジュニアインターンシッププログラム」と呼んでいます。

地域教育協議会とは

各中学校区に設置

地域住民の積極的な学校支援活動をとおして、地域全体で学校を支援する体制をつくり、学校の教育活動の充実を図るとともに、地域の教育力の再生・地域コミュニティの活性化をめざしています。

ジュニアインターンシップの流れ



(4) 英語教育とキャリア教育

グローバルな社会を生き抜く力の育成

奈良市の英語教育は、ALT（外国語指導助手）や地域の方々との豊かな出会いをとおして、異文化に対する柔軟な心を育みます。

その体験をキャリア教育の視点で意義づけることにより、より社会に直結した学びにつながります。



具体的な取組例

ALTの生き方に学ぶ

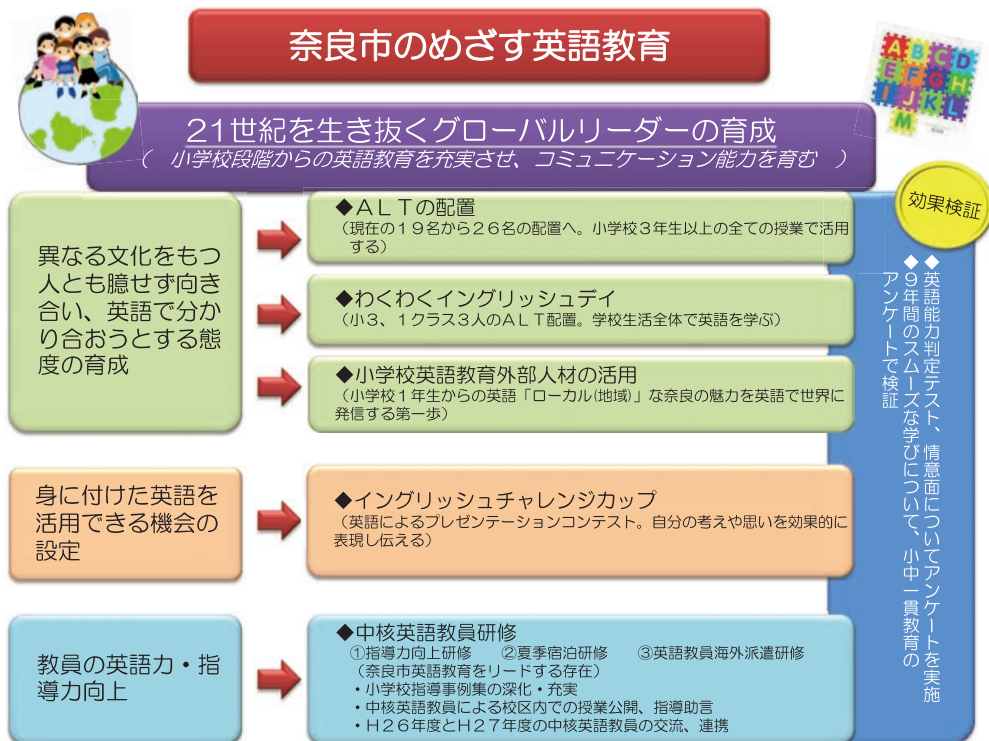
- ・単に外国語科のアシスタントとしての出会いではなく、「自国を飛び出して働く大人」としての出会いを意識します。また、ALTの視野をとおした「日本」を知ることにより、自国のアイデンティティを確認することができます。

英語教育外部人材

- ・小学1、2年生の外国語の時間に、英語に堪能な地域の人材を活用し、英語の学習を行っています。単に英語を学ぶだけでなく、この出会いを「地域の宝」と価値づけ学ぶことで、地域を誇りに思う心が育まれ、地域とのつながりを感じます。

イングリッシュチャレンジカップで発信

- ・英語を使って、自分の思いを発信する経験は、グローバル化する社会で生き抜いていくための自信となり、将来の自分の糧になります。



6. よくある質問

Q. キャリア教育は新しいことを始めるのですか？

- A. 教職員の視点で見ると、今まで「子どもたちの将来を思ってやってきたこと」、それがキャリア教育です。新しいことを始めることも大事ですが、これまでやってきた取組や言葉がけを「キャリア教育の視点」で捉え直すことが大切です。
→なぜそのことをするのかを意味づけたり、その行動が社会に出たときにどんな場面で役立つのかを価値づけたりできるよう意識していきましょう。

Q. 教科指導でどのようにキャリア教育を進めるのですか。

- A. 教科指導にこそ、キャリア教育の視点が必要です。
それぞれの教科の学びの中で、「自らの将来との接点」「未来に生きる力の実感」を意識して意味づけしてください。学びと実社会がつながったとき、子どもたちの学習意欲は高まり、より効果的に「生きる力」が身に付きます。

Q. 全体計画や年間指導計画は担当がつくればいいのですか？

- A. 担当学年や学校全体などみんなでつくるようにしてください。
子どもたちの「身に付けさせたい力」を共に考える「プロセス」と、それぞれの思いを可視化することで全教職員が同じベクトルで取り組める「意識化」が大事です。

Q. 4つの力のひとつ「挑戦する力」の中に書かれている「レジリエンス」とは何ですか。

- A. 逆境から立ち直る力（「精神的回復力」「抵抗力」「復元力」「耐久力」）を指します。状況に左右されない感情をコントロールする力や、自分を過小評価しない自尊心、自分が成長前進していると感じることができる、自己効力感や失敗の中でもいつかできると考える楽観性も重要な要素です。

Q. キャリア教育コーディネーターについて教えてください。

- A. キャリア教育コーディネーターとは、児童生徒等の能力を活用する「場」を提供することで、社会的自立に向けた力のはぐくみを支援し、学校の学びの中で地域一体となったキャリア教育の実現を促す教育支援人材です。



最後に

「キャリア」とは、さまざまな学びや経験の積み重ねと、その意味づけ・価値づけです。これからのグローバル社会を見通し、身に付けさせたい力を描いて、「心揺さぶられる本物との出会い」を創造していきましょう

教育活動に、キャリア教育の視点を！



下記のパンフレットは、国立教育政策研究所のウェブサイトからダウンロードできます。研修等でご活用ください。



キャリア教育を創る
「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」
小・中・高等学校における基礎的・汎用的能力の育成のために
平成 23 年 11 月



キャリア教育をデザインする
「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」
—小・中・高等学校における年間指導計画作成のために—
平成 24 年 8 月



「キャリア教育・進路指導に関する
総合実態調査」パンフレット
—学習意欲の向上を促すキャリア教育について—
平成 26 年 3 月



「キャリア教育・進路指導に関する
総合実態調査」パンフレット
—キャリア教育を歩を進める評価—
平成 27 年 3 月

【監修】

平成27年度 奈良市キャリア教育推進懇話会

筑波大学 人間系

教 授 藤田晃之

実践女子大学 大学教育研究センター

特任教授 深澤晶久

兵庫県教育委員会事務局 義務教育課

課 長 西田健次郎

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会

認定エグゼクティブ・コーディネーター 石川 陽

(所属は平成27年度末のものです)

奈良市キャリア教育の手引き

初版発行	平成28年（2016年）2月
発 行	奈良市教育委員会 奈良市二条大路南一丁目1番1号
監 修	奈良市キャリア教育推進懇話会
編 集	奈良市教育委員会事務局 学校教育課
印刷・製本	南浦印刷株式会社



キャリアの種を
次の世代へ